

【特集号用EM】 幹事用 よくある操作マニュアル

公益社団法人 土木学会

はじめに

【操作にあたってのお願い、注意点】

- システムの表示および動作は、アメリカ東海岸時間（EST）です。
- 本マニュアルの画面イメージは実際と異なる場合があります。
- 特集号用EMは複数の特集号で使用しています。必ずご自身が担当する特集号のみ作業を進めてください。

1. 著者へ返却（差戻し）の操作方法

1. 著者へ返却（差戻し）の操作方法

著者へ返却（差戻し）の操作は以下のような場合にご利用いただけます。

- 初回投稿時のテクニカルチェックにて不備があった場合
 - 操作の詳細は、特集号 幹事 テクニカルチェックマニュアルをご確認ください。
- 修正投稿時に、**著者から修正原稿と最終原稿を間違えて提出したため差し替えない**と連絡があった場合
 - 本マニュアルをご確認ください。

1.著者へ返却（差戻し）の操作方法

著者へ返却（差戻し）の操作を始める前の注意事項

- **必ずご自身の担当する特集号の投稿のみ操作をしてください。**
- **査読へ進んでいる場合は、基本的に著者へ返却（差戻し）が出来ません。その場合は、「審査報告」にて判定し、修正投稿として著者へ戻してください。**
- **著者へ返却（差戻し）の操作は、担当編集委員からは不可となりますので幹事側での操作をお願いいたします。**

1. 著者へ返却（差戻し）の操作方法（修正投稿時）



幹事メインメニューの
[投稿検索]または画面上部の
[簡易投稿検索]から、受付番号
等で対象の投稿を検索します。

**※投稿検索していただかないと
著者へ返却（差戻し）の操作が
できません。**

1. 著者へ返却（差戻し）の操作方法（修正投稿時）

アクション	受付番号	著者名	標題	論文種別	キーワード	専門分野	ステータス
PDFを表示 詳細情報 E ディスカッションを開催 履歴を表示 ファイル一覧 投稿を編集 著者へ返却	JSCE-SP-23-0059R1		Test	特集号(論文)	rehearsal;	17.101: 波と流れ/Waves and	修正投稿完了 (Revised Manuscript Submitted)

操作する対象の投稿のステータスが、**必ず**
[修正投稿完了(Revised Manuscript Submitted)]になっていることを確認してください。

※それ以外のステータスの場合は、返却（差戻し）ができません。お困りの場合は事務局にお問い合わせください。

1. 著者へ返却（差戻し）の操作方法（修正投稿時）

アクション	受付番号	著者名	標題	論文種別	キーワード	専門分野	ステータス
PDFを表示 詳細情報 E ディスカッションを開催 履歴を表示 ファイル一覧 投稿を編集 著者へ返却	JSCE-SP-23-0059R1		Test	特集号(論文)	rehearsal;	17.101: 波と流れ/Waves and c	修正投稿完了 (Revised Manuscript Submitted)

操作する対象の投稿の**[著者へ返却]**をクリックします。

1.著者へ返却（差戻し）の操作方法（修正投稿時）

【著者へ返却】

メールを送信する画面が表示されます。

著者へ返却 - メールの選択

著者へ返却する際のメールをドロップダウンから選択してください。著者に送信するメールは、テクニカルチェックでの不備による返却、事務局で修正した投稿情報の確認依頼、などです。
メール文をカスタマイズする場合は、該当メールを選択後[カスタマイズ]リンクをクリックしてください。
この画面の[メールを送信]をクリックするか、カスタマイズ画面の[送信]をクリックするとメールが送信されます。

名前	メール	
Atlas Support	06-06.投稿の差し戻し/AuthorNotice-Send back to Author	カスタマイズ

キャンセル

メールを送信

1. 著者へ返却（差戻し）の操作方法（修正投稿時）

【著者へ返却】

メールを送信する画面が表示されます。

著者へ返却 - メールの選択

著者へ返却する際のメールをドロップダウンから選択してください。著者に送信するメールは、テクニカルチェックでの不備による返却、事務局で修正した投稿情報の確認依頼、などです。
メール文をカスタマイズする場合は、該当メールを選択後[カスタマイズ]リンクをクリックしてください。
この画面の[メールを送信]をクリックするか、カスタマイズ画面の[送信]をクリックするとメールが送信されます。

名前	メール	
Atlas Support	06-06.投稿の差し戻し/AuthorNotice-Send back to Author	カスタマイズ

※メールは「06-06.投稿の差し戻し/AuthorNotice-Send back to Author」を選択してください。

1. 著者へ返却（差戻し）の操作方法（修正投稿時）

【著者へ返却】

メールを送信する画面が表示されます。

著者へ返却 - メールの選択

著者へ返却する際のメールをドロップダウンから選択してください。著者に送信するメールは、テクニカルチェックでの不備による返却、事務局で修正した投稿情報の確認依頼、などです。
メール文をカスタマイズする場合は、該当メールを選択後[カスタマイズ]リンクをクリックしてください。
この画面の[メールを送信]をクリックするか、カスタマイズ画面の[送信]をクリックするとメールが送信されます。

名前	メール	
Atlas Support	06-06.投稿の差し戻し/AuthorNotice-Send back to Author	カスタマイズ

修正内容は[カスタマイズ]をクリックしてメール内に追記してください。

1. 著者へ返却（差戻し）の操作方法（修正投稿時）

To-Doリスト

- 担当中の投稿 (5)
 - 受付待ちの新規投稿 (0)
 - 受付待ちの修正投稿 (0)
 - アサイン待ちの新規投稿 (4)
 - アサイン待ちの修正投稿 (0)
 - 著者へ返却済みの投稿 (1)**
 - 新規の担当投稿 (0)
 - 規定査読数提出済みの投稿 (0)
 - 規定査読数に満たない投稿 (0)
 - 査読が遅延している投稿 (0)

著者へ返却中の投稿は、
幹事メインメニューの
[To-Doリスト]内にある
[著者へ返却済みの投稿]に格納されます。
(カッコ内の数字は原稿数です)

1. 著者へ返却（差戻し）の操作方法（修正投稿時）

著者が原稿を差し替え、再度投稿完了したものは、
前回の担当編集委員の画面に自動的に格納されます。

2. 審査報告取り消しの操作方法

2. 審査報告取り消しの操作方法

審査報告取り消しの操作は以下のような場合にご利用いただけます。

- 担当編集委員が、誤った判定で審査報告を完了した場合

2. 審査報告取り消しの操作方法

審査報告取り消しの操作を始める前の注意事項

- **必ずご自身の担当する特集号の投稿のみ操作をしてください。**

2. 審査報告取り消しの操作方法



幹事メインメニューの
[投稿検索]または画面上部の
[簡易投稿検索]から、受付番号
等で対象の投稿を検索します。

2. 審査報告取り消しの操作方法

アクション	受付番号	著者名	標題	論文種別	キーワード	専門分野	ステータス
PDFを表示 詳細情報 K ディスカッションを開催 履歴を表示 ファイル一覧 査読・審査結果を表示 審査報告を取消	JSCE-SP-23-0059R1		Test	特集号(論文)	rehearsal;	17.101: 波と流れ/Waves and c	要修正 (Revise)

操作する対象の投稿のステータスが、

[未完了(Incomplete)]ではないことを確認してください。

※未完了(Incomplete)]のステータスの場合は、審査報告取消操作ができません。

2. 審査報告取り消しの操作方法

アクション	受付番号	著者名	標題	論文種別	キーワード	専門分野	ステータス
PDFを表示 詳細情報 K ディスカッションを開催 履歴を表示 ファイル一覧 査読・審査結果を表示 審査報告を取消	JSCE-SP-23-0059R1		Test	特集号(論文)	rehearsal;	17.101: 波と流れ/Waves and c	要修正 (Revise)

操作する対象の投稿の**[審査報告を取消]**をクリックします。

2. 審査報告取り消しの操作方法

【審査報告取り消し】

メールを送信する画面が表示されます。

審査報告取り消し - 受付番号 JSCE-SP-24-0002 Test

この投稿の審査報告を取り消して、差し戻します。前回の審査報告完了通知は連絡履歴にそのまま残ります。

キャンセル

カスタマイズメールを送信

デフォルトメールを送信

メールを送信せずに取り消し

2. 審査報告取り消しの操作方法

【審査報告取り消し】

メールを送信する画面が表示されます。

審査報告取り消し - 受付番号 JSCE-SP-24-0002
Test

この投稿の審査報告を取り消して、差し戻します。前回の審査報告完了通知は連絡履歴にそのまま残ります。

[カスタムメールを送信]を選択すると、送信するメールをカスタマイズすることができます。

2. 審査報告取り消しの操作方法

【審査報告取消し】

メールを送信する画面が表示されます。

審査報告取消し - 受付番号 JSCE-SP-24-0002
Test

この投稿の審査報告を取り消して、差し戻します。前回の審査報告完了通知は連絡履歴にそのまま残ります。

[デフォルトメールを送信]を選択すると、定型のメールをそのまま送信します。**※メール内容の確認ができませんのでご注意ください。**

2. 審査報告取り消しの操作方法

【審査報告取り消し】

メールを送信する画面が表示されます。

審査報告取り消し - 受付番号 JSCE-SP-24-0002
Test

この投稿の審査報告を取り消して、差し戻します。前回の審査報告完了通知は連絡履歴にそのまま残ります。

[メールを送信せずに取り消し]を選択すると、メールがどなたにも送信されずに取り消し完了となります。

2. 審査報告取り消しの操作方法

【審査報告取消し】

メールを送信する画面が表示されます。

審査報告の取り消し

以下のユーザは審査報告の取り消し時にメールを受信する必要があるため、[メールを送信]リンクをクリックしてください。カスタマイズをしない場合は、デフォルトのメールが送信されます。

送信するメールを個別に変更する場合は、ユーザ名をクリックしてください。メールの内容を編集している場合、メールテンプレートを選択してください。

一覧の中にメールの送信を取り消したいユーザがいれば、[メールを送信]をクリックすると、チェックしたユーザへメールを送信します。

名前	メール	カスタマイズ	
〇〇〇〇 (Author)	09-03. 審査報告取消通知(著者)/Author Notice Decision Rescinded	カスタマイズ	<input type="checkbox"/>
幹事 大介 (幹事)	09-02. 審査報告取消-事務局/Notice Editor Decision Rescinded	カスタマイズ	<input type="checkbox"/>
編集委員 一郎 (編集委員)	09-02. 審査報告取消-事務局/Notice Editor Decision Rescinded	カスタマイズ	<input type="checkbox"/>

キャンセル **メールを送信**

[メールを送信]をクリックして、審査報告取消完了です。

担当編集委員に投稿が戻り、正しい内容にて判定の再提出が可能となります。

お問い合わせ先

論文投稿に関するお問い合わせは下記までメールにてお願いいたします。
なお、メールにてお問い合わせする前にFAQ(よくある質問)
<https://www.editorialmanager.jp/#faq> をご参照ください。

- お問い合わせ先：公益社団法人 土木学会（特集号係）
- E-mail：edi-s@jsce.or.jp